

# アナンシと知恵

 Ghanaian folktale

 Wiehan de Jager

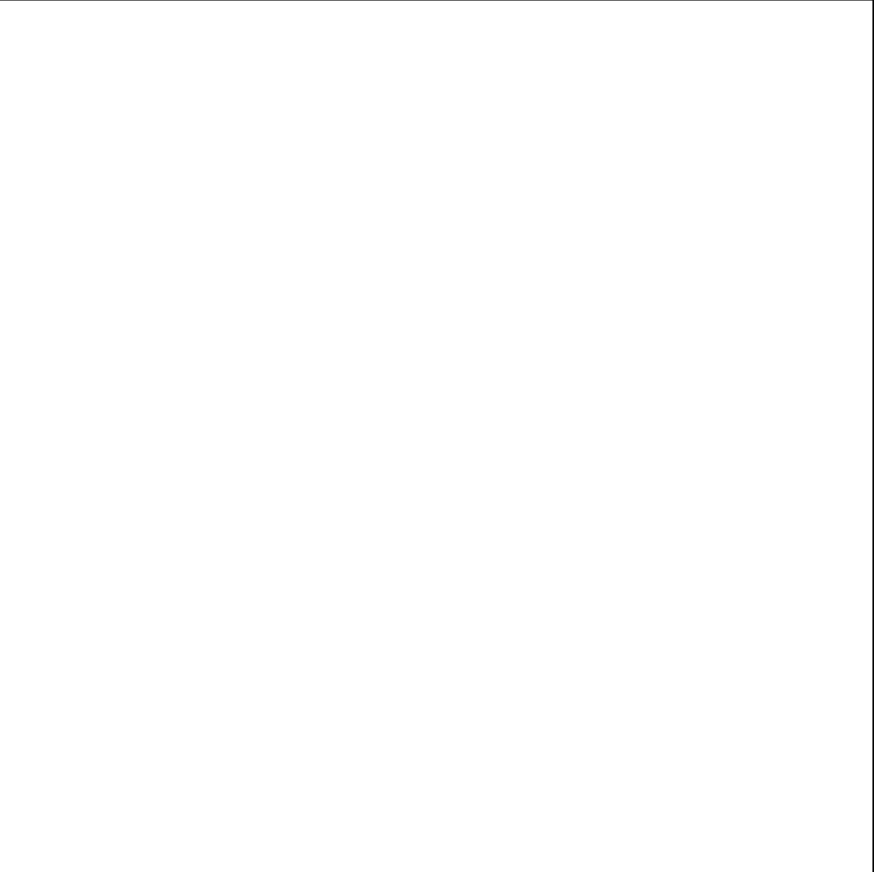
 Kohei Tsuji

 Japanese

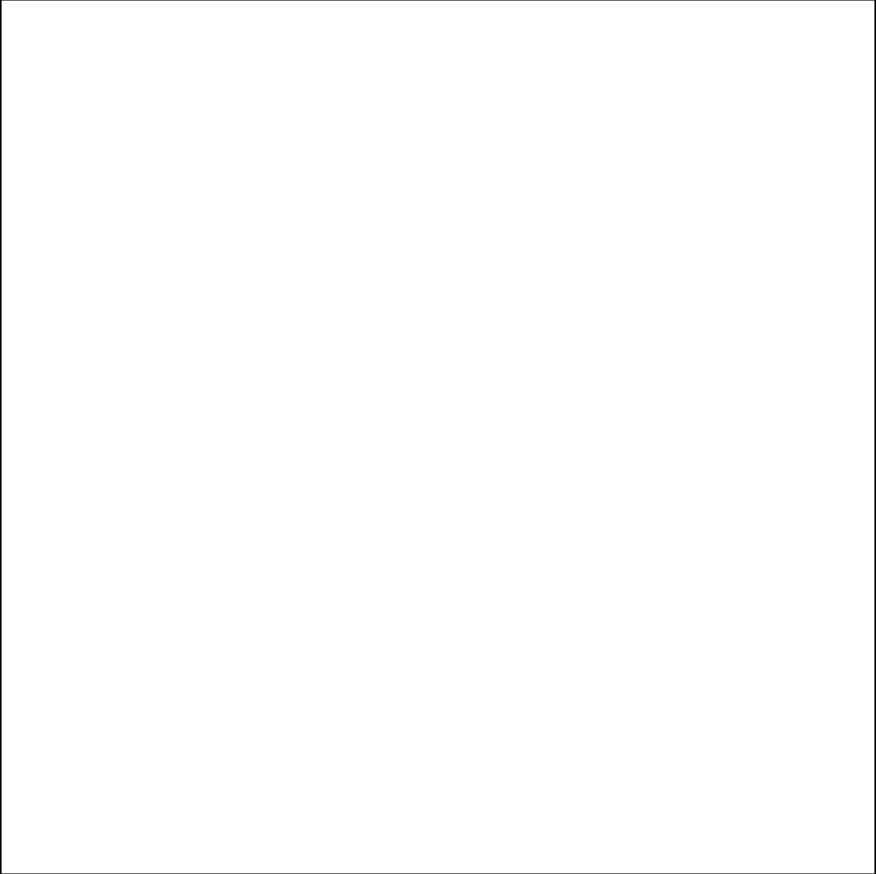
 Level 3

(imageless edition)



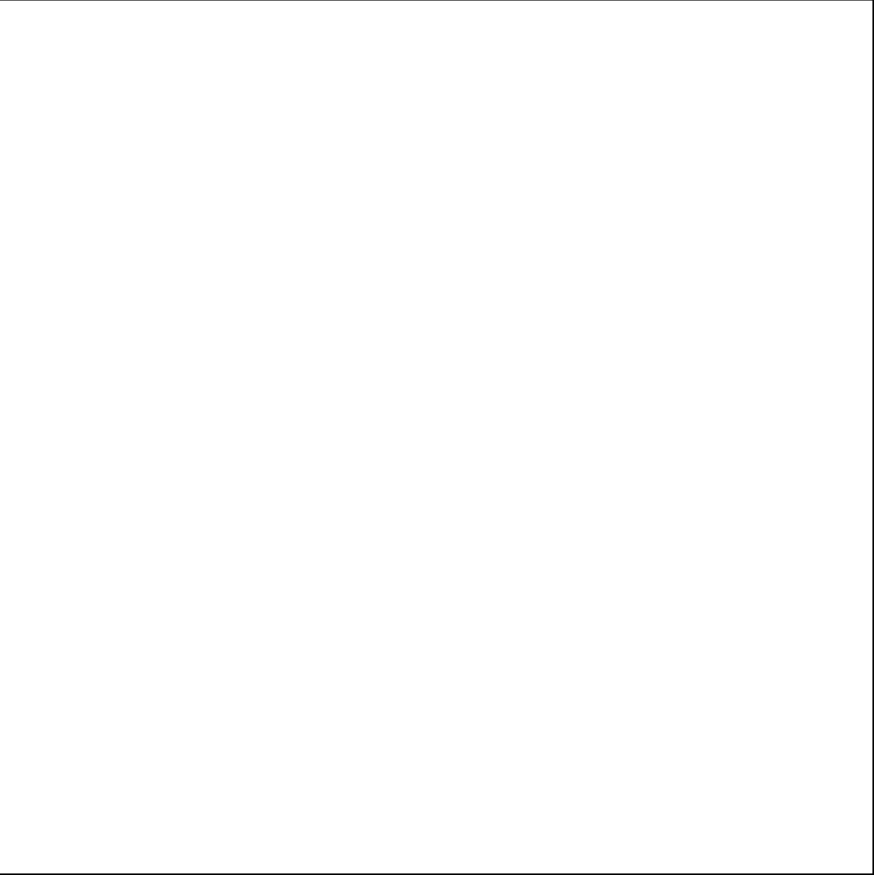


昔々、人々は何も知らなかった。彼らは農作物のに植え方も、服の縫い方も鉄の道具も作る方法も知らなかった。空に住んでた神ニヤメが世界のすべての知恵を持っていた。彼はそれを安全に粘土の壺にしまっていた。

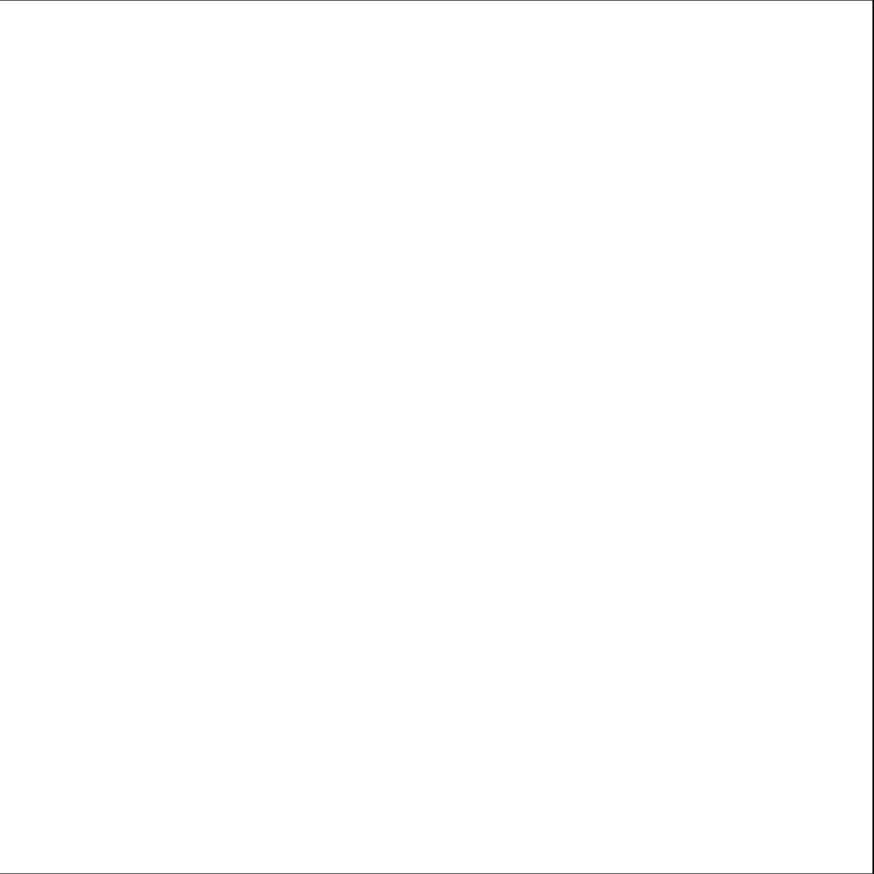


ある日、ニヤメは壺の知恵をアナンシに  
あげることにした。毎回アナンシは壺を  
覗き込み、何か新しいものを学んだ。彼  
はそれを楽しんだ。

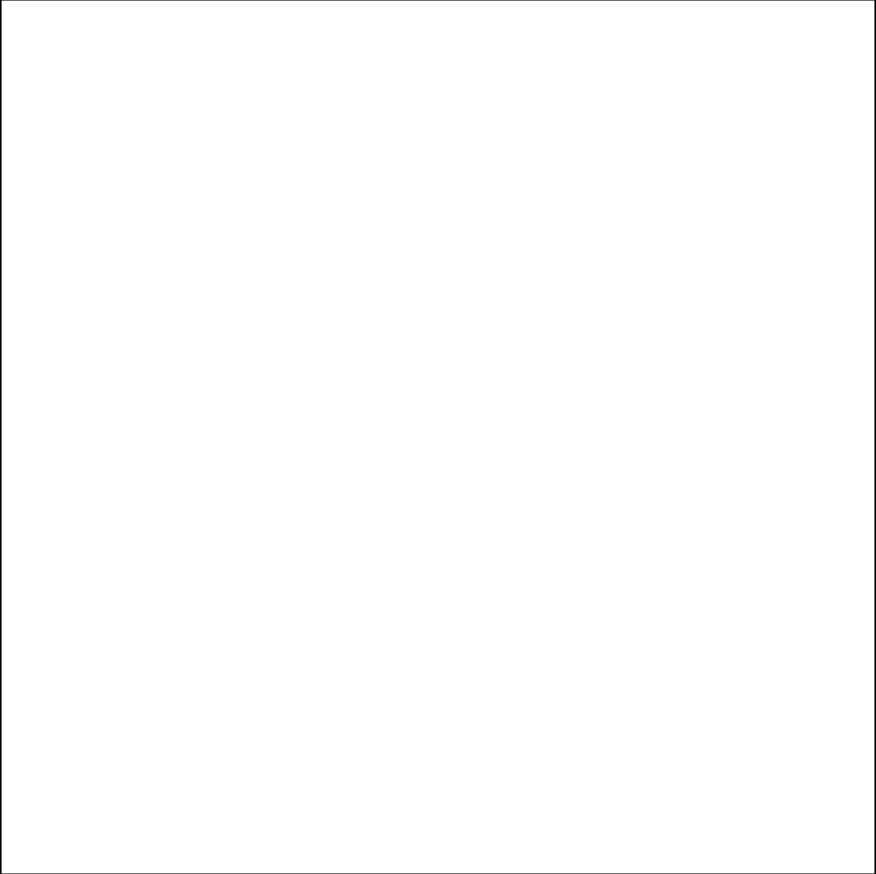
強欲なアナンシは思った、高い木の上に壺を置いておけば安全だ。そして独り占めすることができる！彼は壺を長い紐でお腹に巻いた。木を登り始めた。しかしずっと膝の間で壺が跳ねて木を登ることは難しかった。



ずっとアナンシの若い息子は木の下で木を見ながら立っていた。そして彼はお腹の代わりに背中に壺を結んだ方が簡単ではないか？と言った。アナンシは背中に結び登った。それはとても簡単なことだった。



すぐに木の頂上に着いた。しかしそこで彼は止まり考えた、僕はすべての知恵を持っていると思っていたが、自分の息子の方が賢いじゃないか！アナンシはこのことについて怒って、壺を木からほうり投げた。



壺は壊れて地面にバラバラに割れた。その知恵はみんなに自由に共有された。そうやって人々は農業や服の作り方や、鉄製の道具の作り方、そして他の知恵も学ぶことができた。



# Storybooks Canada

[storybookscanada.ca](http://storybookscanada.ca)

## アナンシと知恵

Written by: Ghanaian folktale

Illustrated by: Wiehan de Jager

Translated by: Kohei Tsuji

This story originates from the African Storybook ([africanstorybook.org](http://africanstorybook.org)) and is brought to you by [Storybooks Canada](http://Storybooks Canada) in an effort to provide children's stories in Canada's many languages.



This work is licensed under a Creative Commons  
[Attribution 3.0 International License](http://creativecommons.org/licenses/by/3.0/).